

飯山市橋梁長寿命化修繕計画

平成23年10月

長野県 飯山市 道路河川課

§ 1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

飯山市道の管理橋梁は、平成 23 年 3 月現在で延長 2 m 以上の橋梁箇所数が 237 橋で橋梁形式別にすると 248 橋となっています。

そのうち、建設後 50 年を経過した橋梁は、下表にまとめた通り 29 橋、40 歳代 84 橋、30 歳代 94 橋、20 歳代 17 橋、10 歳代 23 橋、それ以下が 1 橋となります。

建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は、29 橋で、全体の 11.7% であるが、今後 10 年経過すると、この割合が 45.6% と急速に高齢化橋梁が増大します。

・橋梁の年齢と建設数（図表）

年齢	橋梁数
80	1
79～70	2
69～60	5
59～50	21
49～40	84
39～30	94
29～20	17
19～10	23
9～0	1
形式別橋梁数	248

このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに要する経費を算出しそれぞれの橋梁でのコスト縮減効果をみながら、修繕計画を策定する必要があります。

これまでの事後保全的な修繕のみでなく、予防保全の考え方を導入して、将来的な財政負担の低減や平準化を図ります。

§ 2 対象橋梁数

	橋梁（箇所別）	橋（形式別）
橋長 2 m 以上の全管理橋梁	237	248
うち計画の対象橋梁数	71	78
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0
うち平成 23 年度計画策定橋梁数	71	78

§3 基本方針

今回長寿命化修繕計画の対象とした橋梁について、年次計画に基づき修繕を行い、5年を目途に次回点検を実施し、点検の結果を次期の長寿命化修繕計画に反映させます。

なお、今回対象外とした橋梁については、道路パトロールを行い予防的な維持等に務めます。

§4 個々の橋梁修繕計画

別表の飯山市長寿命化修繕計画（年次）のとおり

§5 長寿命化計画の効果

- (1) 予防的な修繕は、橋梁の長寿命化が図られコスト縮減につながります。
- (2) 橋梁点検によって現状を把握しながら適切な時期に適切な修繕工事を実施することで、橋梁の安全性が確保され、道路の機能が将来にわたって維持できます。
- (3) 管理橋梁全体の状態を把握した上で修繕計画を策定することにより、予算配分の平準化が図れます。

§6 計画策定担当部署及び意見聴取をおこなった学識経験者等の専門知識を有する者

(1) 計画策定担当部署

飯山市 建設水道部 道路河川課 TEL 0269-62-3111

(2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

長 尚 元信州大学工学部土木工学科教授